広報 ひがしくるめ
平成17年（2005年）5／15号
No.913
発行／東久留米市 編集／企画経営室広報課 〒203-8555 東久留米市本町3-3-1 ☎0424・70・7777（代） ホームページ http://www.city.higashikurume.lg.jp 毎月1日・15日発行

元気で活力ある東久留米を目指して！

「地域産業振興に関する報告書」の内容をお知らせします

「元気で活力ある東久留米を目指して」、14年度に設置した地域産業振興会議設立準備会の提言を基に創設された地域産業振興会議も16年度末をもって2年間の検討を終え、17年度は新たな展開に入ります。

このほど設立準備会を含めた3年間の活動が「地域産業振興会議報告書」にまとまりました。今号では、この報告書の内容とともに、今後の展開をお知らせします。

同報告書は5月16日(月)から市政情報コーナー（市役所2階、中央・滝山・ひばりが丘・東部の各図書館のほか、市ホームページでご覧いただけます。

詳しくは産業振興課☎70・7743へ。

地域産業振興会議設置の背景・準備活動

市は、住環境の整備を重視して発展してきました。長引く景気の低迷や高齢化の影響を受け、このままではまち全体が老年化してしまう状況にあります。これを打開するためには、市内の産業振興に注力することが不可欠であるという判断から、地域産業振興会議の創設に向け準備会が設置されました。

準備会の活動指針は、①産業振興に向けた「芽」（ポテンシャル）の再発見・再構築②抽象論ではなく行動を重視③東久留米固有の比較優位の資源を生かす、などでした。

検討体制は、市内各産業の代表5人を中心に財団法人都市みらい推進機構のサポートを得て検討を開始しました。

検討の内容は、①活用可能な既存資源（人材・自然等）②新たな機能導入の可能性③地域振興に向けたポイントの整理（高付加価値化・観光ビジネス化・人材活用）④戦略的モデルプロジェクト候補の抽出（ブランド商品育成＝「柳久保小麦」を活用した商品化等）⑤市民参加型のイベントの開催準備（ふれあいウオーキング）⑥有識者ヒアリング（人材育成・コミュニティビジネスほか）、などです。

地域産業振興会議の活動実績

準備会の提言を受けて、地域産業振興会議を15年度に設置し、将来ビジョンの策定と個別リーディングプロジェクトの立ち上げを目標に、具体的活動を実施してきました。

検討体制は、公募委員2人、有識者、各産業の代表、自然保護団体、NPO法人、西武鉄道、市職員を含めた13人と、幹事としてJA東京みらい東久留米支店長、東久留米市商工会事務局長、また、会議運営支援として財団法人都市みらい推進機構に委託して進めました。

15年度の地域産業振興会議は産業振興フレームを検証しながら、上半期は活動方針を検討し、下半期は4つのワーキンググループ（WG）に分かれて活動するとともに、実現の可能性があるプロジェクトを抽出しました。

16年度の地域産業振興会議は15年度にまとめた中間報告に基づき、外部組織との積極的連携を視野に入れながら、8つのWGを設置し活動を展開しました。

①農業ビジネスWG＝地場野菜を使用した加工品ビジネスの可能性を検証

②産業振興パンフレットWG＝市内の産業を紹介する産業情報誌の発刊

③ふれあいウオーキングWG＝隠れた観光資源の掘り起こし

④新たな発想WG＝産業振興に向けてのアプローチ方法の整理

⑤得意技バンクWG＝潜在している市内人材の発掘

⑥創業支援セミナーWG＝創業支援手法の検討

⑦WEB活用による産業支援WG＝市のホームページ等を企業の宣伝媒体として活用

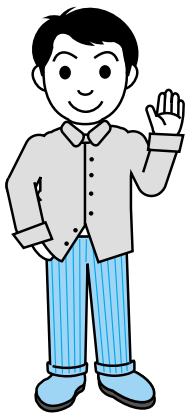
⑧行政受託WG＝行政の行っている事業の民間委託等の可能性の検討

17年度活動への展開

地域産業振興会議報告を受け、新たな体制（地域産業振興委員会の下に事業推進部会・構想企画部会を置く）によるリーディングプロジェクトの育成・発掘を中心に、引き続き地域産業振興事業の具体化に努めていきます（右図参照）。

市民の皆さん、企業・事業所、各種経済団体の皆さんの一層のご支援、ご協力をお願いします。

これらは地域産業会議の活動実績なんだよ



17年度活動への展開

■基本方針

新たな体制で（検討組織から事業推進組織へバトンタッチし）、地域産業振興会議の活動成果をさらに発展させる。リーディングプロジェクトの育成・発掘をしていく。

■活動内容

(1) 農業加工品の商品化
◇柳久保うどん・かりんとう・ふりかけ、ほかのブランド商品化
◇新たな新商品の開拓

(2) 東久留米市の魅力の発信（水と緑、農産物）
◇ふれあいウオーキングの実施
◇地元情報誌「KURUME－NAVI」の充実
◇マスメディアの有効活用

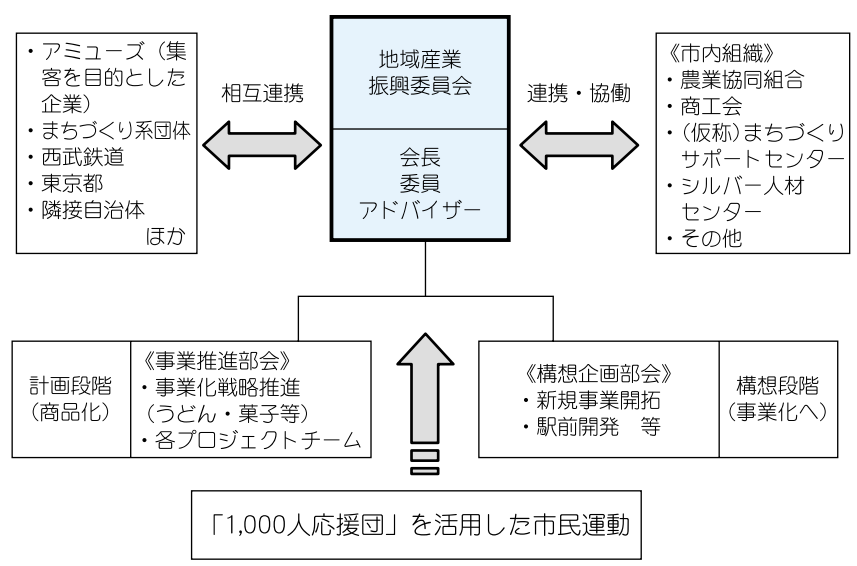
(3) 地域振興に資する人材の発掘
◇定年を迎える団塊の世代
◇専業主婦・学生・シルバー世代

(4) 市民を巻き込むイベントの開催
◇地域産業振興シンポジウムの開催
◇料理コンテスト＝人材発掘・フードビジネスの芽出しも企図
◇その他、定期的イベントの企画

(5) 他組織連携の推進
◇新商品を作り出すための外部組織との連携
◇販売ルートを開拓するための外部組織との連携
◇市内関連組織との連携強化
◇西武鉄道との連携

(6) 産業振興応援団の組織化、Eメールの有効活用
◇1,000人応援団の組織化を目標とする
◇各種情報提供・アイデア提供・アンケートへの協力・イベント参加
◇産業振興をキーワードとする地域コミュニティの形成

17年度地域産業振興体制



『地域産業振興委員会』委員を公募します

市では地域産業振興会議報告を受け、地域産業振興事業のさらなる具体化に向けて「地域産業振興委員会」を設置します。

委員会は商工業・農業など産業関連団体の代表などで構成されますが、「元気で活力ある東久留米を目指して」、共に活動をしていただける委員2人を募集します。元気な東久留米づくりに熱意をお持ちの方の応募をお待ちします。

第1回の委員会は6月上旬を予定しています。謝礼あり。

【応募資格】 市内在住で、4月1日現在20歳以上の方

【会議回数】 年6回程度。その他、委員会での協議の上、部会等の会合あり

【期間】 6月～18年3月

【応募方法】 5月27日（金）までに（消印有効）、住所・氏名・年齢・職業・電話番号・応募理由（400字程度）を書いて、〒203－8555、市役所産業振興課あて郵送を。電子メールも可。

詳しくは同課☎70・7743へ。

◆産業振興課メールアドレス
sangyoshinko@city.higashikurume.lg.jp